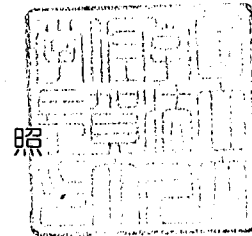


平成19年7月9日

文部科学大臣 殿

国立大学法人佐賀大学長  
長谷川



佐賀大学大学院医学系研究科博士課程医科学専攻設置報告書

このたび、佐賀大学大学院医学系研究科博士課程医科学専攻を設置することについて、別紙書類にて報告します。

設 置 計 画 の 概 要

大学の名称		佐賀大学			計画の区分		事前伺い			
							研究科の専攻設置			
新 設 学 部 等 の 状 況 ( 学 年 進 行 終 了 時 に お け る 状 況 )										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は専攻の分野		異動元	助教以上	うち教授
医学系研究科博士課程	医科学専攻	30		120	博士(医学)	医学関係	平成20年度	医学系研究科博士課程機能形態系専攻	52	17
								医学系研究科博士課程生体制御系専攻	58	18
								医学系研究科博士課程生態系専攻	14	8
								新規採用等	10	4
既 設 学 部 等 の 状 況 ( 現 在 の 状 況 )										
学部の名称	学科の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は専攻の分野		異動先	助教以上	うち教授
医学系研究科博士課程	機能形態系専攻(廃止)	13		52	博士(医学)	医学関係	平成16年度	医学系研究科博士課程医科学専攻	52	17
								退職	1	1
医学系研究科博士課程	生体制御系専攻(廃止)	14		56	博士(医学)	医学関係	平成16年度	医学系研究科博士課程医科学専攻	58	18
								退職	4	4
医学系研究科博士課程	生態系専攻(廃止)	3		12	博士(医学)	医学関係	平成16年度	医学系研究科博士課程医科学専攻	14	8
								退職	1	1
【備考欄】 現行の医学系研究科博士課程は、昭和59年度に設置されたが、平成15年10月に佐賀大学と佐賀医科大学が統合されたことにより、開設年度は平成16年度と記載している。										

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(医学系研究科(博士課程)医科学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備 考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
コ ー ス 必 修 科 目	基礎医学コース																	
	基礎医学研究法	1~3	2				○	○		16	13	1	17				(履修方法) 何れか1つのコース 区分で、「研究法」 と「研究実習」の計 14単位を必修。	
	基礎医学研究実習 (研究指導)	1~3 1~4	12 —					○		16 16	13 13	1 1	17 17					
	小計(2科目)	—	14							16	13	1	17	0				
	臨床医学コース																	
	臨床医学研究法	1~3	2				○	○		21	21	14	14					
	臨床医学研究実習 (研究指導)	1~3 1~4	12 —					○		21 21	21 21	14 14	14 14					
	小計(2科目)	—	14							21	21	14	14	0				
	総合支援医科学コース																	
	総合支援医科学研究法	1~3	2				○	○		8	4							
	総合支援医科学実習 (研究指導)	1~3 1~4	12 —					○		8 8	4 4							
	小計(2科目)	—	14							8	4	0	0	0				
共 通 選 択 必 修 科 目 I	生命科学・医療倫理	1・2	2				○	○		1	1							(履修方法) 「生命科学・医療倫 理」を含めて4単位 以上を選択。
	アカデミックスピーキング	1・2	2				○	○				1						
	アカデミックライティング	1・2	2				○	○			1							
	プレゼンテーション技法	1・2	2				○	○			2							
	情報リテラシー	1・2	2				○	○			1							
	患者医師関係論	1・2	2				○	○				1						
	医療教育	1・2	2				○	○		1								
	医療法制	1・2	2				○	○										
	小計(8科目)	—	2	14						2	4	2	0	0				
共 通 選 択 必 修 科 目 II	分子生物学的実験法	1・2	2				○			3	2	1	4				(履修方法) 4単位以上を選択。	
	画像処理・解析法	1・2	2				○			2	2	2						
	疫学・調査実験法	1・2	2				○			2	1							
	組織・細胞培養法	1・2	2				○			1	1		2					
	組織・細胞観察法	1・2	2				○	○		4			4					
	行動実験法	1・2	2				○			1								
	免疫学的実験法	1・2	2				○	○		1	1		1					
	機器分析法	1・2	2				○	○			1							
	データ処理・解析法	1・2	2				○	○		4	1							
	電気生理学の実験法	1・2	2				○	○		1	2		3					
	動物実験法	1・2	2				○	○			1							
アイソトープ実験法	1・2	2				○			1	1		1						
小計(12科目)	—	0	24						15	12	3	14	0					
共 通 選 択 必 修 科 目 III	解剖・組織学特論	1・2	2					○		3			4				(履修方法) 4単位以上を選択。	
	生理学特論	1・2	2					○	○	1	2		3					
	神経科学特論	1・2	2				○	○		5	1	1	3					
	生命科学特論	1・2	2				○			2	1		2					
	分子生物学特論	1・2	2				○			1	1							
	微生物感染学特論	1・2	2				○	○		1	1							
	免疫学特論	1・2	2				○	○		1	1		1					
	病理学特論	1・2	2				○	○		2			3					
	薬理学特論	1・2	2				○	○		2	1	1	2					
	発生・遺伝子工学	1・2	2				○	○		1	1	1	3					
	基礎腫瘍学	1・2	2				○	○	○	1								
	形質人類学	1・2	2				○	○		1			2					
	環境医学特論	1・2	2				○	○	○		1							
	予防医学特論	1・2	2				○	○		1	1							
	法医学特論	1・2	2				○	○	○	1			1					
	臨床病態学特論	1・2	2				○	○		19	20	9	10					
臨床診断・治療学	1・2	2				○	○	○	19	20	9	10						

共通 選択 必修 科目 Ⅲ	臨床局所解剖学	1・2	2				○	1			2		
	人工臓器	1・2	2			○	○	6	1				
	臨床微生物学	1・2	2			○	○	1	1				
	法医中毒論	1・2	2				○	1			1		
	臨床腫瘍学	1・2	2			○	○	6	4	2	3		
	臨床遺伝学	1・2	2			○	○	2	1				
	薬物動態論	1・2	2				○	1	1				
	映像診断学	1・2	2			○	○	5	2	2	6		
	病院経営学	1・2	2			○	○						
	老年医学	1・2	2			○	○	1	1				
	病理診断学	1・2	2				○	2					
	地域医療特論	1・2	2			○	○	3	1				
	健康行動科学	1・2	2			○	○	3	1				
	社会生活行動支援	1・2	2			○	○	2	1				
	周産期医学	1・2	2			○	○	2	1				
	リハビリテーション医学	1・2	2			○	○		1				
	アクセシビリティ特論	1・2	2			○	○	1					
	健康スポーツ学特論	1・2	2			○	○	2	1				
	食環境・環境栄養学特論	1・2	2			○	○	1	1				
	国際保健・災害医療	1・2	2			○	○	3	1				
医療情報システム論	1・2	2			○	○	2	1					
認知神経心理学	1・2	2			○	○	2						
看護援助学特論	1・2	2			○	○	4						
緩和ケア科学特論	1・2	2				○		1					
医療・介護事故とヒューマンエラー	1・2	2			○	○	1						
小計 (42科目)		—	0	84			—	44	35	12	31	0	

(履修方法)  
4単位以上を選択。

合計 (64科目)	—	16	122			—	47	40	16	31	0	
-----------	---	----	-----	--	--	---	----	----	----	----	---	--

学位又は称号	博士 (医学)	学位又は学科の分野	医学関係
--------	---------	-----------	------

設置の趣旨・必要性

**I 設置の趣旨・必要性**  
 現行の博士課程は、昭和59年に医学部出身の学生を想定して設置されたもので、機能形態系専攻、生体制御系専攻、生態系専攻の3専攻の区分が研究者育成を目的とした研究分野別区分になっている。現在では、臨床医学の高度専門職者育成や、医科学修士課程と連動して他学部出身者を対象としたケア医学など高度医療人の養成にも取り組んでおり、現行のままの教育課程では、これら多様な人材育成機能に対応した体系的教育が困難になっている。また、専攻別縦割り区分により、学生の幅広い学習や指導教員担当などの融通性に支障が生じている。上記問題を改善するためには、現行の専攻区分とは異なる枠組みで教育課程を編成する必要がある。『新時代の大学院教育』に向けた改善を現行の枠組みの中で進めてきたが、現時点では枠組みを変えることが必要な段階に至っている。  
 本設置計画の趣旨は、①旧来の3専攻を1つにまとめて、包括的に医学関連学問領域を表す名称として一般的に用いられている医科学 (Medical Science) 専攻とし、②人材育成機能を研究者・指導者の育成のみならず高度専門職業人等の育成にも拡充し、③人材育成の目的に沿った教育コースを設けて柔軟かつ体系的な教育課程を編成することにある。

**II 教育課程編成の考え方・特色**  
 本課程の教育目的「医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するのに必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成する。」に則して、社会の要請に応える多様な研究者および高度専門職者を育成するために、次の3つのコースを設定し、その中で各々の目的と専門性に応じた履修カリキュラム (コースワーク) を学生ごとに設計し、履修していくことが可能な教育課程の編成を基本方針としている。

- 1) 基礎医学コース：医学・生命科学等の領域で自立した研究者・指導者として活躍する人材を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と研究に必要な技術や実験デザインなどの研究遂行能力を修得する。
- 2) 臨床医学コース：研究マインドを備えた臨床医学等の高度専門職者を育成することを目的とし、病態学、診断・治療学、手術技法、統計解析など臨床医学や社会医学の高度な専門的知識・技能・態度ならびに主として患者を対象とする臨床研究の遂行能力を修得する。
- 3) 総合支援医科学コース：総合的ケアなど医療関連の研究・実践能力を備え、包括医療のなかで活躍する高度専門職者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と技術ならびに研究・実践デザインなどの研究・実践遂行能力を修得する。

具体的には、各コースの目的達成に必要な授業科目を次の区分に分けて開設し、各区分毎に必要な単位数を必修あるいは選択科目として履修させることにより、コースワーク設計の自由度を保ちながら、本課程が育成しようとする人材像に求められる体系的な能力の修得を担保する教育課程編成となっている。

**コース必修科目：**各コースの目的に沿って、自立して研究を行うのに必要な研究デザインの理論を学ぶ「研究法」と実践的に修練する「研究実習」の二つの科目から成り、必修科目として履修する。

**共通選択必修科目Ⅰ：**各コースに共通あるいは関連する基礎的素養を涵養するための科目群で、「生命科学・医療倫理」を含めて2科目以上を選択して履修する。

**共通選択必修科目Ⅱ：**コースおよび各自の目的に沿った専門的技術を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修する。

**共通選択必修科目Ⅲ：**コースおよび各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修する。

本教育課程の特色は、旧来の医学系研究科博士課程に無かった「臨床医学コース」及び「総合支援医科学コース」の設定と、上記の柔軟かつ体系的なカリキュラム編成にある。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
(修了要件) 大学院に4年以上在籍し、上記の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。	1学年の学期区分	2期
(履修方法) コース必修科目14単位、共通選択必修科目から16単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。ただし、共通選択必修科目は、共通選択必修科目Ⅰから「生命科学・医療倫理」を含めて4単位以上、共通選択必修科目Ⅱから4単位以上、共通選択必修科目Ⅲから4単位以上を修得するものとする。	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(医学系研究科(博士課程)機能形態系専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通	人体機能構造学概論	1	2			○		○	3				3		
	病態機能と病態構造概論 (研究指導)	1 1~4	2 —			○		○	5		1		2		
	小計(2科目)	—	4			—		—	8	0	1		5	0	
発生・分化部門	発生学概論	1		3		○		○	1				2		} 選択必修
	組織培養法	1		3		○		○	4	1	3		3		
	実験発生学	1		4		○	○	○	1				2		
	生殖生理学	2		4		○	○	○	1		2				
	加齢と老化	2		4		○	○	○	2				1		
	形質人類学	1・2		4		○	○	○	1				2		
	小計(6科目)	—		22		—		—	7	1	3		6	0	
機能構造部門	組織細胞化学研究法	1		3		○		○	4		2		3		} 選択必修
	超微形態観察法	1		3		○		○	2				3		
	人体局所解剖学	1・2		8		○	○	○	6	1	1		3		
	神経機能構造学	1・2		8		○	○	○	2				2		
	神経伝達の機能構造	1		4		○	○	○	2				2		
	皮膚結合組織機能構造学	1・2		4		○	○	○	1	1			1		
小計(6科目)	—		30		—		—	11	2	3		7	0		
病態構造部門	病態構造学特論	1・2		3		○		○	7	1	2		4		} 選択必修
	アイソトープ実験法	1		3		○		○	1		2		1		
	腎臓・血管病理学	1・2		4		○	○	○	4	1	2		4		
	神経病理学	1		4		○	○	○	2	1	2		1		
	病態内分泌学	1・2		8		○	○	○	2	1			1		
	消化器病理学	2		4		○	○	○	2		1		3		
	生殖病理学	1・2		4		○	○	○	1	1	2				
	声帯の構造と病態生理	1・2		8		○	○	○	1	1					
	映像診断	1・2		4		○	○	○	3	1	4		5		
	放射線生物学概論	2		4		○	○	○	1		1		1		
小計(10科目)	—		46		—		—	14	6	7		9	0		
病態機能部門	病態機能学特論	1		3		○		○	2		1		1		} 選択必修
	画像解析法	1		3		○		○	2		3		3		
	眼の病態機能	1・2		8		○	○	○	1						
	頭頸部の病態機能	1・2		6		○	○	○	3	1	1		2		
	運動器学	1		4		○	○	○							
	尿路の病態機能	1・2		8		○	○	○	1	1			2		
	呼吸循環の病態機能	1・2		8		○	○	○	1	2					
	リハビリテーション	1・2		4		○	○	○		1					
	人工臓器	2		4		○	○	○	4	2	2		4		
小計(9科目)	—		48		—		—	8	5	4		6	0		
合計(33科目)		—	4	146		—		—	18	11	9		15	0	
学位又は称号	博士(医学)		学位又は学科の分野			医学関係									
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性															
I 設置の趣旨・必要性															
II 教育課程編成の考え方・特色															
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
									1学年の学期区分			期			
									1学期の授業期間			週			
									1時限の授業時間			分			

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(医学系研究科 (博士課程) 生体制御系専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通	生体制御概論	1	2			○		○	4		1	4		
	病態・病因概論 (研究指導)	1	2			○		○	8	2	3	10		
	小計 (2科目)	—	4			—		—	12	2	4	14	0	
生体情報処理部門	データ処理	1		3		○		○	4	2		2		
	電気生理学的研究法	1		3		○		○	2	3		3		
	中枢神経生理学	1・2		6		○	○	○	1	1		1		
	行動発現の脳内機構	1・2		8		○	○	○	2	1		1		
	生体の環境適応機構	1		4		○	○	○	1			2		
	情報伝達の生物物理学	1・2		6		○	○	○	1	3		1		
	細胞膜の生化学・生理学	1・2		4		○	○	○	1	3		1		
	精神医学特論	1・2		4		○	○	○	2		1			
	行動科学	1・2		6		○	○	○	3	1	1			
	神経化学特論	2		2		○		○	1		1			
	臨床神経学	2		4		○	○	○	1			1		
小計 (11科目)	—		50		—		—	8	6	1	4	0		
代謝部門	生化学・生物学的研究法	1		3		○		○	2	2		3		
	組織学研究法	1		3		○		○	1	1				
	代謝調節機構	1・2		6		○	○	○	1			3		
	細胞運動機構	1		4		○	○	○						
	病態生化学	1・2		4		○	○	○	1			3		
	先天性代謝異常	1		4		○	○	○						
	内分泌代謝学	1・2		4		○	○	○		2		2		
	消化管の病態	2		4		○	○	○	1	2	1	2		
	肝・胆道の病態	1・2		4		○	○	○		1				
	循環動態	1・2		4		○	○	○	1	1	1	3		
	組織内微鼠金属代謝	2		4		○	○	○						
小計 (11科目)	—		44		—		—	5	9	2	10	0		
遺伝部門	生物物理化学研究法	1		3		○		○	1	2				
	細胞培養法	1		3		○		○	1			1		
	分子遺伝・分子生物学	1・2		8		○	○	○	1	1				
	遺伝子工学	1		8		○	○	○	1	3				
	人類遺伝学	1・2		4		○	○	○	2		1			
	免疫遺伝	1・2		4		○	○	○	1			1		
	細胞工学	2		8		○	○	○	1	3		1		
小計 (7科目)	—		38		—		—	4	5	1	1	0		
腫瘍・免疫・感染部門	免疫学的研究法	1		3		○		○	1			1		
	超微形態観察法	1		3		○		○						
	免疫反応の制御	1・2		4		○	○	○	3	1	1	1		
	臓器及び腫瘍免疫	1・2		4		○	○	○	1	2	1	1		
	生体防御機構	1・2		6		○	○	○	4	2	2	4		
	病原微生物学	1		4		○	○	○	1	2		2		
	ウイルス学特論	1・2		4		○	○	○	1	1		1		
	媒介動物学	1・2		4		○	○	○						
	体液・血液循環病態生理	1・2		4		○	○	○	1	1		2		
	化学療法	2		4		○	○	○	1	1		2		
	免疫性神経疾患	2		4		○	○	○	1			1		
小計 (11科目)	—		44		—		—	7	6	3	8	0		

化学物質作用部門	機器分析法	1		3		○		○	1	3				} 選択必修
	アイソトープ実験法	1		3		○		○	1			1		
	受容体の分子薬理学	1・2		6		○	○	○	4	1		1		
	生理活性物質	1		4		○	○	○	4	2				
	薬物作用の生化学的機構	1・2		4		○	○	○	3	1				
	毒性学	2		4		○	○	○	3	1				
	麻酔と神経機構	1・2		6		○	○	○	1	1				
	薬物動態論	1・2		4		○	○	○	3	2				
小計 (8科目)		—		34		—		—	7	5	0	2	0	
合計 (50科目)		—	4	210		—		—	22	20	5	15	0	
学位又は称号		博士 (医学)			学位又は学科の分野				医学関係					
設置の趣旨・必要性														
I 設置の趣旨・必要性														
II 教育課程編成の考え方・特色														
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
								1 学年の学期区分				期		
								1 学期の授業期間				週		
								1 時限の授業時間				分		

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(医学系研究科(博士課程)生態系専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通	社会医学概論	1	2			○		○	3	1			1		
	社会生態学的研究法 (研究指導)	1	2			○		○	3		1		1		
	小計(2科目)	—	4			—		—	4	1	1	1	0		
保健疫学部門	データ処理	1		3		○		○	1					} 選択必修	
	組織学実験法	1		3		○		○							
	地域医療特論	1・2		4		○	○	○	3	1					
	疫学特論	1・2		4		○	○	○	2						
	予防医学特論	1・2		4		○	○	○	1	1					
	健康スポーツ学特論	1・2		4		○	○	○	1	1					
	障害者・高齢者福祉支援	1・2		4		○	○	○	1	2					
	国際保健・災害医療	1・2		4		○	○	○	1						
小計(8科目)	—		30		—		—	6	2	0	0	0			
環境医学部門	機器分析法	1		3		○		○						} 選択必修	
	有機・無機定性定量実験法	1		3		○		○	1			1			
	環境医学特論	1・2		8		○	○	○	2	1		1			
	食環境・環境栄養学特論	1・2		4		○	○	○	1	1					
	環境中毒学特論	1・2		4		○	○	○	1	1					
	環境発癌学	1		4		○	○	○	1						
	産業衛生学特論	1・2		4		○	○	○		1					
	環境汚染論	2		4		○	○	○		1					
	人類生態学	2		4		○	○	○	1						
小計(9科目)	—		38		—		—	4	2	0	1	0			
裁判医学部門	人体計測法	1		3		○		○	1			1		} 選択必修	
	生化学的研究法	1		3		○		○	1			1			
	個人識別論	1・2		8		○	○	○	1			1			
	法医中毒論	1・2		4		○	○	○	1	1		1			
	血液型学	1・2		4		○	○	○	1			1			
	犯罪精神医学	2		4		○	○	○	1			1			
小計(6科目)	—		26		—		—	1	1	0	1	0			
合計(25科目)		—	4	94		—		—	9	4	1	1			
学位又は称号		博士(医学)		学位又は学科の分野				医学関係							
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性															
I 設置の趣旨・必要性															
II 教育課程編成の考え方・特色															
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
								1 学年の学期区分				期			
								1 学期の授業期間				週			
								1 時限の授業時間				分			